



眠らねば今日のをはらず鉦叩
一志にて一師一詩や秋澄めり
槇櫓の実分厚き夜を纏ひけり
回想に濃淡ありし秋の虹
蓮は実に亀より亀のこぼれたり
脇役に脇役のいろ吾亦紅
秋日和どなたもこなたも世を去つて
駅弁の紐十文字秋高し
十五夜の月が眺めてゐる地球
運ばるる逢瀬の二体菊人形
不確かなこの身に後の更衣
今できることを今して竹の春
しろがねの鰯干し上ぐ浦日和
朴落葉芯に覚悟の巻いてある
口伝とふ知恵を絶やさず柘榴の実

栗原 公子
千田 百里
辻 美奈子
細川 洋子
甲州 千草
町山 公孝
小野 寿子
林 昭太郎
大川 ゆかり
広渡 敬雄
頓所 友枝
塙 誠一郎
能美昌二郎
兵藤 恵
平松 うさぎ

水のなか水湧き出でて水澄めり
文鎮のガラスに気泡九月来る
微力なれど無力に非ず草の花
かりがねや遙か遠流の島灯り
沢村貞子ならばきちんと柚子使ふ
ひとりとは孤独で自由吾亦紅
少年は能の火守りに月今宵
ひよひよと光へ伸びて貝割菜
浜萩やすとんと汀かげりをり
月に棲む兎は知らぬ戦かな
夜気吸うて青を極めし螢草
満月のやうな女神画棟方忌
汀女忌や母と重なるかつばう着
魔性秘め群るる紅蓮の曼珠沙華
裏木戸へ母の声とも秋の声

菅原 健一
朝長美智子
川高郷之助
鈴木 齊夫
鈴木 浩子
五十嵐章子
須賀ゆかり
古山 智子
栗坪 和子
村上 葉子
澤田 英紀
藤野 武彦
河野 智子
高木 春夫
久間 早苗

